

令和8年 2月 12日

加盟団体 各位

北九州市テニス連盟
会長 中島 隆徳

令和7年度北九州市テニス連盟定時総会及び総会テニスの件ご案内

謹啓 向春の候、加盟団体様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より、連盟の事業に対しまして、ご協力、ご指導たまり厚く御礼申し上げます。
さて定時総会及び総会テニスに関しまして以下ご連絡いたしますのでご出席ならびに
ご協力のほどお願い申し上げます。

記

1 総会テニス

下記要領で開催致します。

日 時 3月29日(日) 9時～13時

場 所 三萩野庭球場

試合方法 参加者を4チームに分けてのチーム対抗戦を予定しています

参加者数 一団体4名までとさせていただきます。

(大会の趣旨をご理解のうえ、クラブでお世話をされている方の参加をお願いします)

総会返信用封筒又は、事務局へメールにて3月20日までに申し込みください。

北九州市テニス連盟事務局メールアドレス kita9jim@gmail.com

賞 品 参加者全員にあります

※ 雨天の場合、どしゃ降りであれば中止、小雨であれば開催します

2 定時総会

下記要領で開催いたします。やむおえずご欠席の場合は同封の出欠回答書の「委任状欄」に記入をお願いします。

日 時 3月29日(日) 総会テニス終了後 14時～16時の予定

場 所 三萩野庭球場管理棟 2階会議室

出席者 各団体1名とします

定時総会、総会テニスの出欠につきましては、同封の出欠回答書に必要な事項を記入のうえ、返信用封筒を使用し3月2日(月)までに投函してください。年度変わりによって窓口の方が変わる場合、とくに学校団体の顧問の先生は引継ぎを確実にしていただきますようお願いいたします。

「団体名」を必ず記入し、その横の「本拠地が所属する区名」と「会員数」も必ず記入して、「連絡者名」、「連絡先住所」は**今年度、各団体の窓口になる方**のものを記入してください。

【本拠地の決め方】

賛助会員を除いて、申請する区に活動拠点があることを条件とします。また、連盟入会後に本拠地を変更する場合には、転出・転入する両区の代表理事の承認を得る必要があります。

以上何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

○年会費についてのお願いです

(1) 年会費の納入について (納期は6月末です)

総会テニス時の受付で年会費の納入を受けます

年会費：	一般会費	8,000 円
	学生・生徒会費	5,000 円
	一般賛助会費	10,000 円

○年会費等の納入方法について

【銀行振込みの場合】

振込先：福岡銀行 高須支店(427)

口座：普通預金 291223

名義：北九州市テニス連盟 首藤 浩文(シドウ ヒロフミ)

注：振込みの際は、団体名及び連絡者名を必ずお書き下さい

【郵便局の振替口座の場合】

郵便局で「払込取扱票」を貰い、下記事項を記入し現金を支払います

口座番号 01780-5-38568

口座名称 北九州市テニス連盟

※ この口座は、テニス連盟主催の各大会参加申し込みにもご利用下さい。

いずれの際も、通信欄に「団体名・加盟金」または「○○大会参加料」などの「**振込の理由**」及び「**振込人の氏名**」を必ず書いて下さい。

以上

ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ

テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い

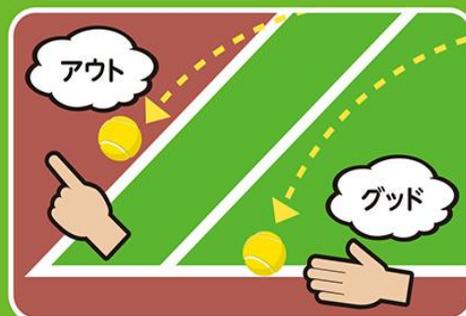


フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- 1 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- 2 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- 3 サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- 4 ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- 5 コートの外の人には、セルフジャッジへの口出しはしない！

保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。

北九州市テニス連盟からのお願い

セルフジャッジ 5 原則の順守とフットフォルトの撲滅について

テニスの試合がセルフジャッジで行われるようになって久しく、「負け審」をご存知の方も少なくなってきましたが、セルフジャッジになってずっと「ポイントの判定」に起因する問題が絶えません。

裏面の「セルフジャッジ 5 原則」（HPにも掲載）が守られさえすればよいのですが「守らない方がポイントを得る」実態が多くみられます。

「セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています」を意識してプレーすることを心掛けていただくことをお願いします。

また、フットフォルトについても、連盟に対して「何らかの対策を！」という声が届いています。北九州においてトッププレイヤーと言われる選手がたくさん観衆の前で「堂々と」フットフォルトを犯しているという実態を捉えてのものです。

フットフォルトは「失点の対象」で、どんなに速いサーブがサービスエリアに入ったとしてもフットフォルトを犯した時点でそのサーブは「フォルト」になります。

それを「セルフジャッジを悪用して」、フットフォルトをしているのを自覚しながらプレーすることはさきの「セルフジャッジ 5 原則」を踏みにじる行為だと言えます。

「フットフォルトをしない」ということは「速いサーブを打つ」や「確実なセカンドサーブを打つ」と同じように「サーブをする上でのスキルの問題」であることを自覚して、個人あるいは一緒にプレーするテニス仲間の共通の課題として取り組んでいただきたいと思います。

連盟としまして、上記のようなお願いをするだけでなく、大会時のローピングの強化などの対策をとっていきたいと考えていますので、連盟に加入されている皆様方も率先して「セルフジャッジ 5 原則の順守」と「フットフォルトの撲滅」にご協力いただきますよう、よろしくご願ひいたします。